

学ぶことは生きること 私がやりたい「生涯学習」はこんなこと！

公民館で開催する講座のアイデア交流

公民館をより多くの人に利用してもらおうと、府中市教育委員会は1月29日、「学び始めワークショップ」を開催。約30人の市民が参加し、公民館で学びたい講座のアイデアを出し合いました。府中市は将来的に「生涯学習大学」を創設し、社会教育活動のいっそうの充実をめざしています。



興味のある講座があれば参加してみたい

市教委が実施したアンケートでは、公民館を利用しない最大の理由は「興味のある講座がない」でした。今の公民館の現状は“特定少数”的傾向で、多様なニーズに応えきれていないのではないのでしょうか。

ワークショップでアイデア続々と…

5～6人のグループ討論では、「こんなことがしたい」とアイデアが次々と出されます。「府中市のよいところ探し」をテーマに、「備後府中の名所・史跡めぐり」「歴史のまち上下町の散策」「農家さんの野菜づくり、収穫体験で食の大切さを」「府中味噌づくりプロジェクト」など…。さらに「子育て講座」「ファッション講座」「DIY講座」など討論は湧いて出るように盛り上がりました。

子どもたちにも聞いてみよう

私たち大人のワークショップでもこんなにアイデアが出されるのですから、子どもたちの独創的な発想を引き出そうと、「3月には小中高生のワークショップを」と市教委では企画しています。CSを通して子どもたちと地域での学びが根づいてきた今、その後の子どもたちの学びの場を企画することで「私がやりたい」を無限に広げていくことが期待できます。



【ワークショップに参加して】 館長 居神友久

教育委員会や公民館が用意する講座に参加を呼びかけるのではなく、市民のみなさんが“講座づくり”から関わってもらい、「これを学びたい」を見つけることが生涯学習をより魅力的で豊かに実らせるのではないかをこのワークショップで学びました。これからの上下公民館運営に生かしたいと思います。